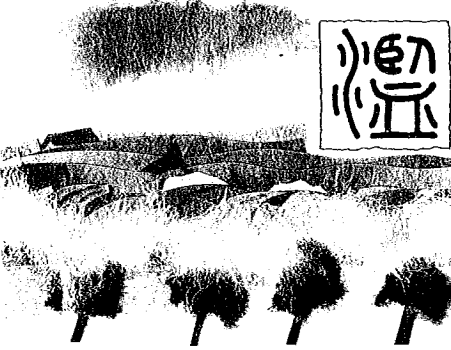


# 濫

ラン

18画 氾 濫 濫 濫 濫

なりたち 水鏡の意味の監と水との会意形声字。水鏡の水が外に「あふれる」ことを表した字。転じて、「度が過ぎる」こと。「みだりに」の意味。



## 濫覧

いみじやく

▼あふれる。  
 氾濫(はんらん)：①川の水があふれ出る。②あまり良くないものがはびこること。  
 用例 悪書が氾濫する。

▼度が過ぎる。みだれる。みだりに。  
 用例 度を越して使うこと。  
 用例 職権濫用  
 濫費：みだりにお金を費やすこと。無駄遣い。  
 濫発：みだりに発行すること。  
 用例 赤字公債を濫発する。  
 濫獲：生き物をみだりにとること。用例 濫獲のため、絶滅の恐れがある鳥類。  
 濫造：みだりにつくること。  
 用例 粗製濫造  
 よみかた 濫振・濫作・濫読・濫伐

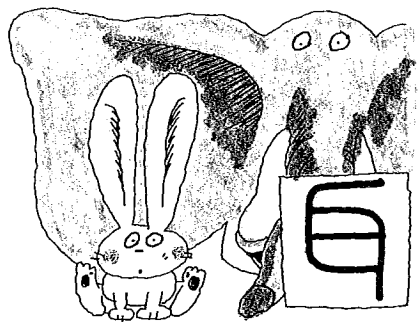
さんこう 「濫」は「乱」で代用される。乱用・乱費など。

# 耳

ミミ

6画 一 下 下 下 耳

なりたち 耳の形をかたどった象形字。顔の両わきにあるので、鍋(かま)や釜(かま)の両わきにある取っ手を「みみ」ということがある。



いみじやく

▼みみ。  
 耳目：①耳と目。②聞くことと見る。③人々の注意。

用例 耳目を引く。  
 耳鼻科：耳や鼻の病気を治す医学。  
 耳下腺(じげせん)：耳の下の所にある唾液(たば)を出す腺(せん)。ここが炎症する病気が、耳下腺炎(おたふくかぜ)。  
 耳学問：耳で聞いただけの浅い知識。  
 耳障り：聞いていて、気に障ること。用例 耳障りな音。  
 耳寄り：耳を寄せて、よく聞きたいと思うこと。用例 耳寄りな話。  
 空耳：①音がしないのに、聞こえたような気がする。②聞いても聞かないふりをする。俗耳：世間一般の人々の耳。

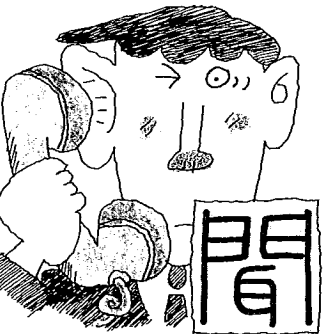
## 耳聞

# 聞

ブン・モン

14画 一 門 門 門 聞

なりたち 耳と門との会意形声字。訪問者が門の前で問うのに対して、門の間からその声をきくことを表した。また、「聞きこえる」こと。また、「聞いて得た知識」。また、「耳に聞こえてくる評判」。



いみじやく

▼見おろす。身分の高い人が見る。広く見る。  
 天覧(てんらん)：天皇が見ること。例 天覧試合

高覧：他人が見ることを敬つていう言葉。用例 御高覧をこう。  
 照覧：神仏が見ること。用例 神仏も御照覧あれ。  
 博覧：①広く一般に見せること。例 博覧会 ②広く読書をして色々なことを知っていること。例 博覧強記

展覧：色々な物をひろげて並べ広く人に見せること。例 展覧会  
 閲覧：図書や文書などを調べたり見たりすること。例 回覧：回して見る。例 回覧板  
 遊覧：見物して回ること。例 遊覧船  
 よみかた 一覽・視覽・使覽

いみじやく

▼きく。きこえる。  
 聞き手：聞く人。聞く側の人。  
 風話し手：語り手  
 聞き分け：話を聞いて、納得したり言うことに従ったりすること。用例 聞き分けのない子供。

▼聞いて得た知識。  
 見聞：見たり聞いたりして得た知識。用例 見聞を広める。  
 寡聞：見聞が狭いこと。「寡は少ない」という意味。用例 寡聞にして存じません。(謙遜)

旧聞：昔聞いたこと。もう知識としては古いこと。  
 ▼耳に聞こえてくる評判。  
 風聞：うわさ。(風に乗って伝わってくる評判の意味。)  
 外聞：外に伝わる評判。用例 外聞が悪い。  
 よみかた 聴聞・前代未聞